

平成 30 年 2 月 1 日

平成 29 年度（後期）技能検定 特級金属熱処理職種及び特級金型製作職種に係る実技試験問題の誤りについて

平成 30 年 1 月 28 日に実施された平成 29 年度（後期）技能検定特級金属熱処理職種及び特級金型製作職種の実技試験（計画立案等作業試験）の試験問題に、下記のとおり誤りがあることが判明しました。

受検者、技能検定試験関係者の皆様に多大なるご迷惑をおかけいたしましたことを深くお詫び申し上げますとともに、今後、試験問題等の作成に当たりましては、細心の注意を払い、再発防止に努めてまいります。

記

1 誤りの内容等

(1) 等級及び職種名

特級 金属熱処理

特級 金型製作

(2) 試験問題種別

実技試験（計画立案等作業試験）問題

(3) 該当箇所

問題 9（両職種とも）

(4) 誤りの内容

問題 9 は、両職種とも、問題文にある 10 か所の空欄に当てはまる適切な語句を、語群の中から一つずつ選択し、その記号を解答させるものですが、試験当日に受検者に配付した試験問題の金属熱処理職種の問題 9 と金型製作職種の問題 9 が入れ替わっていたものです。

なお、試験問題は、問題 1 から問題 9 までで構成されていましたが、問題 1 から問題 8 までについては同種の入替わりは生じていません。

2 試験の実施状況等

(1) 受検申請状況

両職種の受検申請状況は次表のとおりです（当協会調べの速報値）。

区分	金属熱処理	金型製作	合計
実技試験実施県数	28都府県	5府県	29都府県
実技試験申請者数	208人	6人	214人

(2) 誤りが確認された状況

平成 30 年 1 月 29 日(月)午後 3 時に、1 月 28 日(日)に実施した当該 2 職種を含む全職種の正解を当協会ホームページに掲載したところ、当該職種の受検者から問題 9 の正解についての疑義照会があり、内容を確認したところ、実施した当該 2 つの職種の試験問題において問題 9 が入れ違っていたことが確認されたものです。

(3) 当該職種の評価（採点）について

問題 9 については両職種とも問題不成立として採点の対象とせず、問題 1 から問題 8 までの解答を評価の対象として採点を行い、その得点を用いて合否判定を行うこととします。

3 誤りが発生した原因

当該試験問題の印刷工程において原稿が入れ替わってしまい、各都道府県への発送前の確認においても、ページの入れ替わりを発見できなかったものです。

4 再発防止対策

今後は、各都道府県への発送前の確認において、同様のミスがないことをダブルチェックし、より厳格な検品体制を構築することにより、再発防止の徹底を図ってまいります。

(本件照会先)
中央職業能力開発協会
技能検定部企画管理課

電話 03-6758-2813/2858